平成26年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名:情報システム課 担当名:企画・研修担当

1 事業の概要

新たな埼玉県IT推進アクションプランを効率的に推進する。

(1)電子県庁推進のための研修・業務支援・情報収集 48千円

旅費の節約に伴う減額

(2) タブレット端末による業務効率化事業

3.000千円

タブレット端末及び通信費の入札差金発生に伴う 減額

- (3) I T部門における業務継続計画の策定 900千円 策定に係る委託料の企画提案競技における契約差 金発生に伴う減額
- 2 事業主体及び負担区分

(県10/10)

3 地方財政措置の状況

普通交付税措置あり(単位費用算定)

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×8.8人=83,600千円

5 事業説明

- (1) 事業内容
 - ア 庁内情報システム構築支援事業 11,260千円
 - イ 新たな埼玉県IT推進アクションプランの推進 911千円
 - ウ ITアドバイザーからの助言 494千円
 - エ 電子県庁推進のための研修・業務支援・情報収集 3.558千円
 - オ コンピューター研修の負担金 879千円
 - カ タブレット端末による業務効率化事業 8.806千円
 - キ IT部門における業務継続計画の策定 9.000千円
- (2)事業計画
 - ア 情報システム評価、調達支援及び庁内職員向け研修会の実施
 - イ 新たな埼玉県IT推進アクションプランの効率的な推進のため、県庁全体のIT施策の総合調整実施
 - ウ 情報技術に関する専門的な知識を有する外部専門家(ITアドバイザー)から県のIT施策全般の企画・立案 に対する指導・助言
 - エ 一般職員のITスキル向上のための研修、各課所の業務支援や先進的自治体や国などからの情報収集
 - オーエー分野の人材育成体系に応じて、民間研修事業者の専門研修に参加
 - カ タブレット端末を導入し、出張先等における調査・指導や記録作成、職員間の情報共有に活用することによる、 業務の効率化.
 - キ 災害時において全庁の業務継続計画を実践するため、IT部門の業務継続計画を策定
- (3)事業効果

ITによる県民生活の利便性の向上、県の業務の効率化や業務継続性の向上

- (4)その他(前年度からの主な変更点)
 - ア 「業務支援基盤の運用」に関する経費を「電子県庁ネットワーク事業費」に移行。
 - イ 「庁外クラウドの整備」に関する経費を「システム再編推進事業費」に移行。
 - ウ 「タブレット端末による業務効率化事業」に関する経費を新規計上。(8.806千円)
 - エ 「IT部門における業務継続計画の策定」に関する経費を新規計上。(9,000千円)
- (5)補正予算の概要
 - ア タブレット端末による業務効率化事業:タブレット端末及び通信費の入札差金発生に伴う減額
 - イ IT部門における業務継続計画の策定:策定に係る委託料の企画提案競技における契約差金発生に伴う減額

予算額		財 源 内 訳) - (() -
		諸収入						一般財源	補正後の 予算額
決定額	3,948							3,948	30,960
現計額	34,908	344						34,564	